



[創立者]

村田謙造先生

明治20年1月2日、山口県下関市に生まれる。
下関商業学校、大阪高等商業学校卒業。明治42年、簿記を国民常識として広めることを目標に「銀行会社事務員養成所」を創立。
多数の有能な人材を輩出して簿記の普及に努めると同時に、各種団体の要職を歴任し、職業技術教育の近代化に貢献する。
昭和50年3月23日死去。享年88歳。

役職と栄誉

役職

昭和10年12月	東京商工会議所簿記検定試験常任委員
昭和11年9月	日本商工会議所、東京商工会議所より全国珠算協議大会専門委員
昭和24年8月	日本各種学校総連合会常任顧問
昭和26年3月	千代田区各種学校協会初代会長(28.3迄)
昭和29年5月	東京都私立学校審議会委員(37.5迄)
昭和29年6月	東京都法人立各種学校協会初代会長(33.9迄)
昭和29年8月	全国私立学校審議会連合会常任委員
昭和31年3月	全国経理学校協会会長(33.12迄)
昭和31年4月	東京商工会議所簿記検定試験常任委員
昭和31年4月	鉄道弘済会嘱託(40.3迄)
昭和32年11月	東京都私立各種学校協会相談役
昭和33年4月	財団法人私立中学高等学校協会監事
昭和34年1月	社団法人全国経理学校協会理事長(36.4迄)
昭和34年11月	全国各種学校総連合会相談役
昭和36年4月	全国商業高等学校協会常任理事
昭和36年5月	社団法人全国経理学校協会相談役
昭和38年3月	社団法人・学校法人維持基金財団常任理事
昭和39年8月	千代田区特別職報酬等審議会委員
昭和40年10月	千代田区民生委員推薦委員長
昭和42年6月	千代田区代表監査委員(49.4迄)

栄誉

昭和15年10月30日	教育勅語頒発50年に文部大臣より表彰を受ける
昭和20年2月11日	実業教育振興中央会長より表彰を受ける
昭和25年2月22日	私立学校法制定祝賀祭典に永年勤続者として表彰を受ける
昭和25年5月3日	憲法発布記念の佳辰にあたり、簿記・珠算の権威として、実業教育の振興に貢献した功により藍綬褒章を受章
昭和28年5月13日	学制80周年記念式典に教育功労者として文部大臣より表彰を受ける
昭和29年10月28日	東京都産業教育70周年記念に際し、産業教育の功労により表彰される
昭和39年5月16日	公益のため私財を寄付した功により、紺綬褒章を受章
昭和40年4月29日	春の叙勲に際し、勲三等瑞宝章を下受章
昭和40年10月11日	東京都産業教育80周年記念にあたり、産業教育に対する功績顕著として東京都知事より表彰を受ける
昭和40年10月11日	東京都産業教育振興会会長より表彰を受ける
昭和40年11月3日	産業教育に尽瘁した功績により、産業教育振興中央会長より表彰を受ける
昭和40年11月10日	産業教育80周年記念式典に際し、教育功労者として文部大臣より表彰を受ける
昭和45年11月26日	公益のため私財を寄付した功により、紺綬褒章に付する飾板を下賜される
昭和50年3月14日	昭和天皇より銀盃を下賜される
昭和50年3月23日	正五位に叙せられる



[創立者]

村田謙造先生肖像

画：白川一郎



「算数無私情」

「算数ニ私情無シ」と訓じ、「およそ経理にたずさわる者は私情を交えてはならない」の意である。



「有算者勝」

「算有ルハ勝ツ」と訓じ、「算学計理の心得ある者は、人にまさる」の意を表す。これを広義に解釈すると、「ものごとに緻密な計画性をもってあたるならば、必ず成就する」の意である。

……村田謙造先生の著書のかずかず……

大正10年5月	最新商業簿記表解と公式	(大阪屋書店)
大正11年1月	最新商業簿記 上下二巻	(王江堂書店)
大正11年10月	最新銀行簿記	(王江堂書店)
大正13年9月	会社簿記講義	(王江堂書店)
大正14年1月	最新実践工場会計	(王江堂書店)
昭和2年11月	最新商業簿記	(富山房)
昭和9年4月	受映簿記のねらい所	(同文館)
昭和12年8月	商店員自習録	(富山房)
昭和13年10月	標準珠算教科書(全四冊)	(富山房)

